

近江八幡警察署協議会議事録

開催日時	令和5年11月7日(火) 午前10時～午後0時	
開催場所	近江八幡警察署 5階大会議室	
出席者	委員	山本勝士委員、大橋裕子委員、谷村明美委員、川村博委員、大澤正幸委員、小川貴子委員、北川陽子委員
	警察	署長、副署長、調査官(警務課長)、調査官(会計課長)、留置管理課長、地域課長、生活安全課長、刑事課長、交通課長、警備課長
議事概要	<p>1 署長挨拶</p> <p>署長から、「警察は、警察改革以降、考え方が大きく変化し、市民目線の対応に重きを置くようになった。本日も、委員の皆様から様々な御意見を頂戴し、当署の業務に反映したいと思うのでよろしく願いたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 提言に対する反映結果の報告について</p> <p>前回の協議会の際、「高校生がスマホを見ながら自転車を運転している姿をよく見掛ける。警察から学校に対して直接指導してはどうか。」旨の提言があったことに対し、警察から、管内の高校2校において交通安全教育を行った旨の報告がなされた。その際、委員から、「小学生に対しても自転車の乗り方等の指導をしているのか。」旨の質問がなされ、警察から、「小学生には徒歩、中学生には自転車というように、年代に合わせた安全教室を随時行っている。」旨の説明がなされた。</p> <p>(2) 災害対策について</p> <p>警察から、近江八幡警察署における災害対策等について、報告がなされた。その際、委員から、「警察、消防、自衛隊、市町行政の役割分担と連携について教えてほしい。」旨の質問がなされ、警察から、「災害の発生規模にもよるが、各機関において対策本部が立ち上げられ、また、それぞれの代表者による会議の場が設けられ、相互連携が図られることになる。」旨の説明がなされた。また、委員から、「避難指示が出た場合、避難所以外でも安全が確保できる場所へ行くことや、自宅内でもできるだけ安全な部屋へ移動すること</p>	

が避難になるということが分かった。避難行動の考え方について、もっと住民に浸透すればいいと思う。」旨の発言がなされた。

3 逮捕術訓練の視察

警察から逮捕術について説明がなされた後、当署道場において逮捕術の訓練状況を視察した。視察後、委員から、「あんなに激しい訓練をしていると知って、とても驚いた。警察が、これだけの鍛錬を行っているという事実を世間の人にも知ってほしいと思う。」、「市民を守るためにすごく鍛錬されているので、この努力を何らかの形で市民にも知ってほしい。」旨の発言があった。